

商工会議所LOBO（早期景気観測）

-2020年2月調査結果-

調査概要

- 調査期間 2020年2月10日～2月28日
- 調査対象 200社
- 回答企業 115社
- 回収率 57.5%

※DI値（景気判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

なお、従業員の項目については、DI値ゼロを基準として、プラス値は人員不足感を表し、マイナス値は人員過剰感を表している。

DI値 = (増加・好転などの企業割合) - (減少・悪化などの企業割合)

業況・採算：(好転) - (悪化) / 売上：(増加) - (減少) / 仕入単価：(下落) - (上昇)

販売単価：(上昇) - (下落) / 従業員：(不足) - (過剰)

旭川市概況

※全産業の2月の状況を見ると業況DIは、前月より3.6ポイント悪化の▲29.6となった。

2017年9月以来30ヶ月連続でマイナス水準を推移している。

※向こう3か月の全産業における、先行き見通し業況DIは▲30.4、当月と比べ0.8ポイントの悪化が見込まれる。

旭川市全産業 DI 値（前年同月比）の推移

	2019年 9月	10月	11月	12月	2020年 1月	2月	先行き見通し 2020年 3月～5月
業況	▲17.1	▲20.0	▲25.2	▲16.5	▲26.0	▲29.6	▲30.4
売上	▲4.1	▲14.1	▲26.0	▲22.3	▲20.4	▲28.7	▲23.5
採算	▲12.2	▲15.8	▲26.1	▲19.0	▲20.4	▲28.7	▲25.3
仕入単価	▲34.1	▲39.2	▲40.7	▲35.5	▲34.2	▲25.2	▲21.7
販売単価	4.9	13.3	2.6	5.8	4.9	▲4.3	▲8.7
従業員	36.6	40.9	29.4	31.4	30.9	28.7	27.8
資金繰り	▲4.9	▲6.7	▲4.2	▲6.6	▲6.5	▲10.5	▲13.0

旭川市産業別業況DI値（前年同月比）の推移

	2019年 9月	10月	11月	12月	2020年 1月	2月	先行き見通し 2020年 3月～5月
建設	▲16.1	▲20.0	▲30.0	▲17.2	▲13.8	▲28.6	▲28.5
製造	▲13.8	▲11.1	▲26.6	▲7.1	▲31.1	▲17.9	▲14.3
卸売	▲4.1	▲11.5	▲17.4	▲12.0	▲18.5	▲25.0	▲33.3
小売	▲16.7	▲35.3	▲26.3	▲21.0	▲36.8	▲31.6	▲31.6
サービス	▲38.1	▲30.0	▲23.5	▲30.0	▲36.8	▲56.3	▲56.3

今月のトピックス（業界の声・経営上の問題点）

建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員（技術者）確保が一番の課題、働き方改革への取り組みにおいても最大のネックとなっている。（総合工事） ・人手不足の影響で受注している業務の一部が滞っている。但し、今後の業況次第では現状の労力が適正になる可能性も否定できない。（設備・その他） ・新型コロナウイルスの影響で各産業の雇用調整が進み、場合によっては人手が余るのでは。（設備・その他） ・雪が少ない為か3月頃から現場作業開始の予定。（建築）
製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・年明け1月から動きがなく静かです。年度末（3月、4月）は毎年とても忙しくなるので期待したい。（印刷・出版） ・資材等の値上がりにも関わらず販売単価を長期にわたり抑え込んできた製品の単価を納品先と交渉している。（金属窯業他） ・今月については経営上の問題はないものの、新型コロナウイルスの影響が消費低迷の一因の可能性として考えられるのが心配である。又、政府の働き方改革による労働時間等制限が送料の値上げ等で懸念される。（食料品）
卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度と同等の業況。（機械鋼材等） ・灯油の仕入値は、2月に入り下落傾向となり中旬に販売単価を下げたものの、下旬に向け上昇する模様。（その他）
小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・自店舗取り扱いブランドのファン（顧客）作りに徹底し、リピート客を増やし売上を確保していくしかない。ネットではプライスダウンが止まらない。フリー客目当ての商品を店内でチェックし、スマートフォンで商品の価格を確認するお客様がいる。（衣服見回品） ・新型コロナウイルスの影響。（食料品）
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・人手不足で困っているが12月下旬にベトナムより9名が入社し喜んでいる。（理美容・クリーニング） ・新型コロナウイルスの影響は今のところないが、今後どのようなようになるか不安。（飲食） ・元々インバウンドには無縁の店のため新型コロナウイルスの影響はまだ出てないが間違いなく3月、4月に客足が落ちると思われる。出前強化の予定。（飲食） ・人員の不足により、生産性と作業効率の悪化。（飲食） ・少雪のため売上減少。資金繰りは銀行借入れにより安定している。（運送） ・冬まつり期間中の利用者は、昨年より2割減であった。（運送）

旭川市の産業別概況

産業	概況
建設業	<p>売上 DI11.5ポイント悪化、採算 DI7.7ポイント悪化、仕入単価 DI2.1ポイント改善、販売単価 DI6.9ポイント悪化、資金 DI14.1ポイント悪化、従業員 DI8.2ポイント増加し不足感が強まった。総じて業況 DIは 14.8ポイント悪化となった。業種別では、建築業横ばい、総合工事 14ポイント、設備・その他 21ポイント悪化となった。人手不足の影響との声も寄せられている。</p>
製造業	<p>売上 DI0.5ポイント悪化、採算 DI11.4ポイント悪化、仕入単価 DI19.9ポイント改善、販売単価 DI13.5ポイント悪化、資金 DI10.5ポイント改善、従業員 DI9.8ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DIは 13.2ポイント改善となったが、「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実態はほぼ横ばい。業種別では、食料品 10ポイント悪化、印刷・出版 17ポイント、家具・木材 33ポイント、金属窯業他 10ポイント改善となった。需要の低下、新しい事業への展開が容易ではないとの声も寄せられている。</p>
卸売業	<p>売上 DI13.4ポイント悪化、採算 DI1.4ポイント悪化、仕入単価 DI1.9ポイント改善、販売単価 DI5.1ポイント悪化、資金 DI2.8ポイント改善、従業員 DI12.0ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DIは 6.5ポイント悪化となった。業種別では、繊維・衣服等 17ポイント改善、機械鋼材横ばい、食料品 14ポイント、その他 8ポイント悪化となった。前年度と同等の業況との声も寄せられている。</p>
小売業	<p>売上 DI5.3ポイント悪化、採算 DI横ばい、仕入単価 DI15.8ポイント改善、販売単価 DI10.6ポイント悪化、資金 DI5.3ポイント悪化、従業員 DI15.3ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DIは 5.2ポイント改善となったが「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実態はほぼ横ばい。業種別では、衣料品、食料品、自動車横ばい、その他 27ポイント改善となった。新型コロナウイルスの影響との声も寄せられている。</p>
サービス業	<p>売上 DI14.1ポイント悪化、採算 DI25.7ポイント悪化、仕入単価 DI4.6ポイント改善、販売単価 DI14.5ポイント悪化、資金 DI21.7ポイント悪化、従業員 DI13.2ポイント増加し不足感が強まった。総じて業況 DIは 19.5ポイント悪化となった。業種別では、整備業横ばい、理美容・クリーニング 100ポイント、ホテル・旅館 10ポイント、その他 8ポイント、飲食 17ポイント、運送 33ポイント悪化となった。新型コロナウイルス関連で売上減との声も寄せられている。</p>